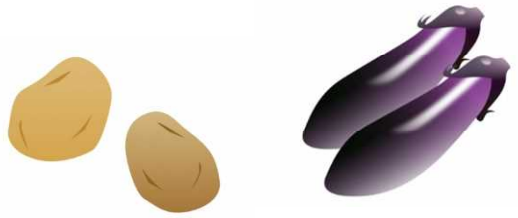
野　菜　作　り　事　始　め

５年前、父が体調を崩したため、あとを引き継いで野菜作りを始めた。畑は自宅前のおよそ１００坪だ。全く経験がないので、不安でいっぱい。次々と生えてくる取りきれない雑草に心が折れそうになる。狭そうで広い１００坪が恨めしい。父からはクワの使い方や畝のつくり方など一から手ほどきを受ける。また、近くの農家の方々にも教えを請うと親切に指導してくれる。自分なりに試行錯誤を重ねて、ようやく人並みに野菜が作れるようになる。

春には、とう菜・玉ネギ・ジャガイモ・イチゴ。夏には、ナス・キュウリ・ピーマン・オクラ・ゴーヤ・カボチャ・青ジソ。秋には、大根・サツマイモ・ネギ・キャベツ・ニンジン・コロタン。春から秋にかけてホウレン草・シュンギク・小松菜。これらが１００坪畑からの恵みのすべてだ。

家族みんなで取り立ての野菜を味わっている。育てる苦労が隠し味になっていて美味とのことだ。この恵みを嫁いだ娘にも宅配便で届ける。すぐに喜びの声が返ってくる。

野菜は、作っている人の足音を聞いて大きく育つと言われている。１００坪畑には、きょうも私の足音が響き渡る。そして、娘への宅配便が増える。